

2010年を振り返って

2010年も早いもので残りひと月となりました。

今年を振り返りますと、2月のチリ沖地震による津波被害、夏場の九州有明海・八代海での2年連続となる大規模な赤潮被害、南米ペルー沖で発生したラニーニャ現象や偏西風の蛇行が原因と考えられている猛暑や海水温上昇等による回遊不振等、漁業経営にとって非常に厳しい年となりました。

昨年10月には「ぎょさい」の制度改正が行われ、今年度は改正内容が本格的に実施された制度改正元年ともいえます。特に、激甚災指定された地震・噴火・それに伴う津波で被害を受ける等一定の要件に該当した場合に通常の約定限度内でん補方式よりも厚く補償される「地震等比例てん補付約定限度内でん補方式（以下：地震付約定てん補方式）」が昨年10月より漁獲・特定養殖共済で新たに追加されました（※）。

チリ地震による津波の影響もあり、昨年度中も地震付約定てん補方式は契約件数471件、共済金額で約104億円の加入実績がありましたが、今年度に入っても着実に地震付約定てん補方式の加入は伸びています（表1参照）。

また、制度改正に伴い養殖共済でも新魚種が平成22年度より契約がスタートしました。新魚種で大きく加入が伸びたクロマグロの実績は以下のとおりです（表2参照）。

表1. 平成22年4月～11月責任開始の地震付約定てん補方式と全てん補方式の加入実績の比較

（漁獲・特定養殖）

てん補方式	引受件数	引受員数	共済限度額(百万円)	共済金額(百万円)
地震付10%	116	116	3,084	1,688
地震付20%	100	100	3,457	1,892
地震付30%	670	670	14,564	9,589
地震付合計	886	886	21,105	13,169
全てん補方式	10,216	12,442	295,638	191,942

※ 平成22年12月10日時点

表2. 養殖共済「くろまぐろ」の22年度加入実績

養殖種類	引受件数	引受員数	共済金額(百万円)
2年くろまぐろ	61	61	3,269
3年くろまぐろ	62	62	4,411
4年くろまぐろ	16	16	716
合計	139	139	8,396

※ 平成22年12月10日時点

近年の異常災害の常態化や養殖種類の多様化に対応し、今後ともより多くの漁業者に「ぎょさい」を有効活用していただけるよう日々努力していく所存です。また、来年度より予定されている所得補償制度が実施されれば、新たに加入する漁業者だけでなく従来から契約していただいている方々にとっても、「ぎょさい」はより強力な「漁業経営の盾」になると確信しております。漁業共済を担う共済団体もこの重責を受け止め、「ぎょさい」の加入率向上を目指すべく積極的な取り組みを行ってまいります。

来年も漁業を守るため、関係者各位のお力をお借りすることになるとは思いますが、引き続きご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※新てん補方式の詳細については、お近くの共済団体にお問い合わせください。